

Internet Explorer の脆弱性について

Microsoft 社の Internet Explorer に、悪意のある細工がされたコンテンツを開くことで任意のコードが実行される脆弱性が存在します。現時点（4/30 15 時時点）で、Microsoft 社から本脆弱性を解消する修正プログラムが提供されておらず、修正プログラムが提供されるまでの間、以下の回避策を実施することをおすすめします。

1. コマンド プロンプトを管理者権限で開く

Windows Vista、Windows 7 の場合: [スタートボタン] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。

Windows 8、Windows 8.1 の場合: デスクトップで [スタートボタン] を右クリックし、[コマンドプロンプト (管理者)] をクリックします。

2. コマンドを実行する

以下のコマンド（文字列）をコピーし、手順 1 で表示されたコマンドプロンプトの上で右クリックし、[貼り付け] をクリックします。コマンド（文字列）が貼り付けられたことを確認後、Enter キーを押します。

本脆弱性に関連する VGX.DLL が無効になります。

```
"%SystemRoot%\System32\regsvr32.exe" -u "%CommonProgramFiles%\Microsoft Shared\VGX\vgx.dll"
```

64 ビット版 Windows の場合は、追加で以下のコマンドも実行してください。

```
"%SystemRoot%\System32\regsvr32.exe" -u "%CommonProgramFiles(x86)%\Microsoft Shared\VGX\vgx.dll"
```

上記の回避策の詳細、およびその他の回避策は、Microsoft 社のアドバイザー ([2963983](https://support.microsoft.com/ja-jp/2963983)) および[追加情報](#)をご参照ください。